

安全上の重要なご注意

使用方法を誤ると死亡・重傷・障害、または物的損害の発生が想定されます。事故を防ぐため各事項を必ず守って下さい。

発煙・発火・異臭・異音・手を触れる事が出来ない程の発熱などの異常が発生したら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。そのまま使用した場合には火災・やけど・感電の恐れがあります。

警告 これらの事項は禁止事項です。死亡または重傷を負う可能性があります。

使用に関する全般的な禁止事項

- 火気・暖房器具・熱器具に近づけない**
熱による異常動作のほか、変形・融解・ショート・発煙・火災の恐れがあります。
- 湿気のある場所やほこりの多い場所では使わない**
漏電やショートなどによる発熱・発煙・発火の恐れがあります。
- 液体や異物を内部に入れない**
漏電やショートなどによる発熱・発煙・発火の恐れがあります。ただちに使用を中止し、サポートセンターまでご連絡下さい。
- 雷が鳴り出したらただちに使用を中止し、手を触れないで下さい**
落雷による感電の恐れがあります。ケーブルの抜き差しなども行わないで下さい。
- 梱包材は乳幼児・お子様の手に届く所におかない**
ビニール袋など、窒息事故の原因になる梱包材がございます。
- 不安定な場所に置かない**
本製品は重量があり、倒れたり落下することによる本体の破損のほか、けがにつながる恐れがあります。
- 改造、分解をしない**
故障のほか、発煙・発火の恐れがあります。
- 火中に投入したり、加熱や端子をショートさせない**
発煙・発火・破裂の恐れがあります。
- 通風孔をふさがない**
内部が過熱し、性能の低下・異音、さらには発煙・発火に至る恐れがあります。
- 壁面に密着させない**
通風孔の風量を確保およびケーブルの過度の折れ曲がりを防ぐため、本体背面は壁面から最低 10cm 以上離して利用ください。
- 海外では使用しない**
本製品は日本国内専用です。電圧が異なるなど、発火・発煙のリスクがあるほか、法令上要求される仕様異なる可能性があります。また、製品保証対象外となり、修理などのサービスもご提供できません。

注意 使用に関する全般的な注意事項
障害、けが、物的損害の発生が想定されます。

- 本製品は下記のような場所では使用・保管しないでください**
 - ・湿気が多い場所（風呂場や窓際、押し入れなど）
 - ・結露が懸念される場所（加湿器の近く、湯気のある場所など）
 - ・油煙の多い場所（キッチンなど）
- 光学ドライブのトレイの扱いに注意する**
トレイが出ている状態ではぶついたり、手や足を引っかけるなど、本体の破損の他に、けがの原因となる場合があります。
- 添付のディスクを本製品以外で再生しない**
大音量による耳への障害の他、スピーカーや装置を破損させる恐れがあります。
- ディスプレイ面は指以外のもので触れない**
本製品は指で触れることを前提に設計しております。金属、プラスチックを含む堅いもの・先端が鋭利なものはディスプレイ面を傷つけたり動作不良を招く恐れがあります。
- ディスプレイ面や外枠部分を強い力で押さない**
ディスプレイが破損する場合があります。
- ぬれた手で触らないで下さい**
感電の原因となる恐れがあります。
- お手入れの前には電源ケーブルを抜いてください**
感電の原因となる恐れがあります。

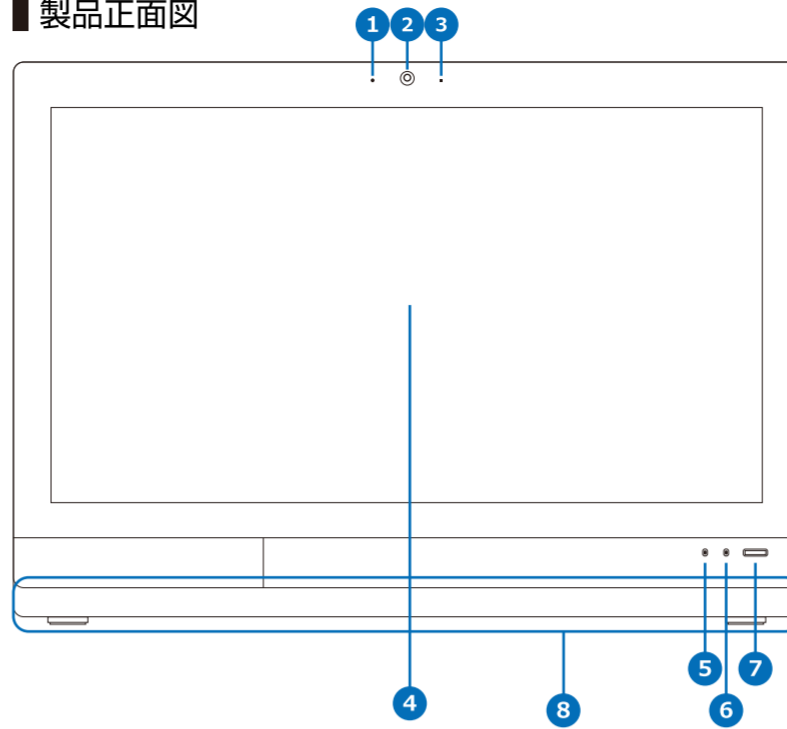
電源ケーブル・ACアダプター・ケーブル類の禁止事項

- ケーブル類に物理的な損傷を与えないで下さい。**
動作不良を引き起こすことがあります。電源ケーブルの場合は火災・やけど・感電の恐れがありますので特にご注意ください。
- ケーブル類は以下の取り扱いを守って下さい。**
 - ・電源ケーブルを抜くときはプラグを持って抜く
 - ・折りたんだり、挟み込んだりしない
 - ・屋外で使えない
 - ・ぬれた場所、もしくはぬれる恐れのある場所では使用しない
 - ・重いものを乗せたり、引っ張ったりしないで下さい
 - ・無理に曲げない
 - ・束ねない
 - ・ほこりがたまっている状態のまま使い続けない
- 破損したケーブルは使用を続けしないで下さい。**
テープなどで修復して利用すると修復した部分の発熱や発火といった恐れがあります。
- ほこりが溜まった状態で使用しない**
火災の原因になります。
- 製品同梱の電源ケーブル・ACアダプター以外を使用しない**
動作不良のほか、発煙・発火・火災・感電の恐れがあります。
- たこ足配線しない**
コンセントが過熱するなど、火災の原因になります。延長ケーブルはなるべく使用せず、壁のコンセントに直接接続して利用することを強くお勧めします。
- 定格 100V(50Hz/60Hz) 以外のコンセントに接続しない**
発火・発煙の恐れがあります。

- 光学ドライブは中をのぞき込まない**
目の痛み・視力障害を引き起こす恐れがあります。
- 直射日光の当たる場所におかない**
熱により動作の異常を引き起こす恐れがあります。
- 振動や衝撃が加わる場所におかない**
誤動作や故障の原因となる恐れがあります。
- 適正な温度・湿度環境下で利用する**
本製品は 10℃～35℃、湿度 10%～80%(ただし結露しないこと) でご利用下さい。
- 静電気に注意する**
静電気によって故障・破損することがあります。
- 動作中に動かさない**
電源を入れた状態のまま本製品を移動させないで下さい。
- 健康上の注意事項**
長時間使用し続けしないで下さい。適度な休息を入れることをお勧め致します。連続して使用し続けると、目の疲れ、目の疲れ、視力低下、腰・手首・腕などが痛くなる恐れがあります。休息しても改善されない場合には医師にご相談下さい。
- 音量を上げすぎないで下さい**
大きな音量では聴力に悪い影響を与える場合があります。また、大きな音量のままプラグの抜き差しや電源のオン・オフを行うと、大きな音が出るなど、聴力に悪い影響を与える場合があります。

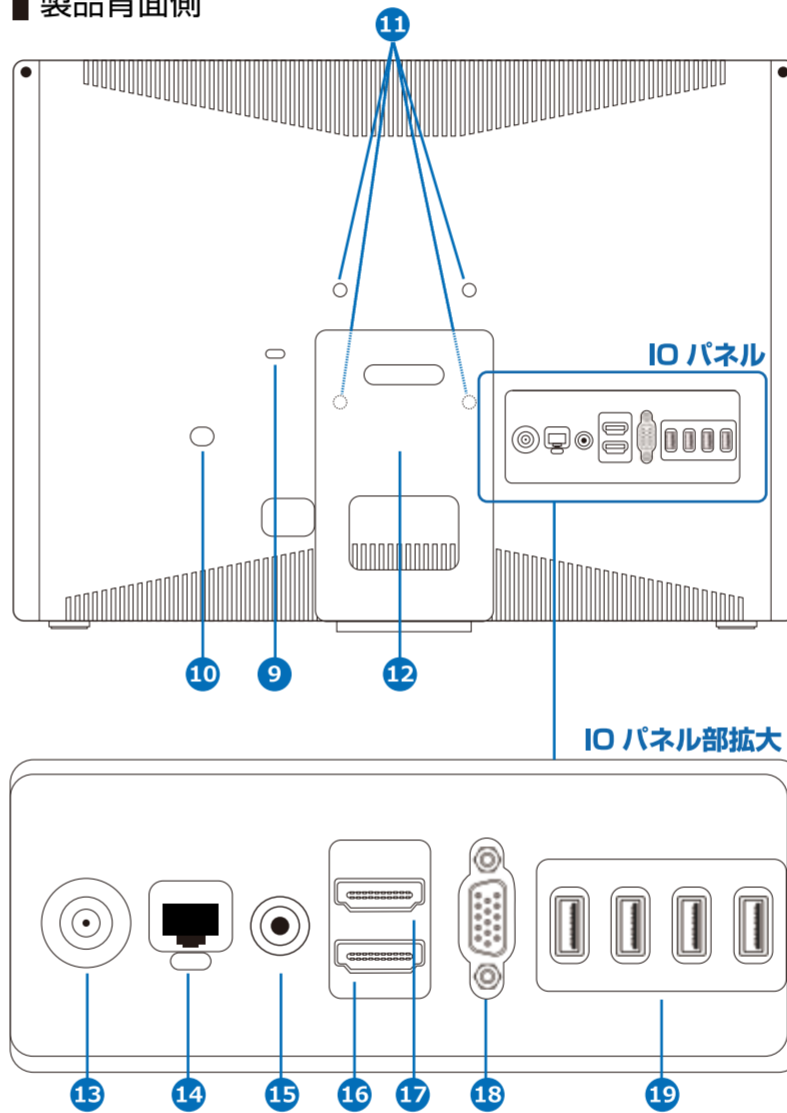
製品各部の名称と機能の説明

製品正面図



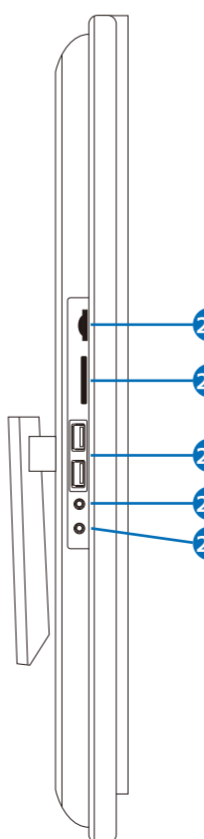
- ① **マイク部**
前面マイクです。カメラと同時の使用に便利なよう、カメラの隣に配置してあります。
- ② **カメラ部**
カメラです。Windows8 の場合、「カメラ」アプリからご利用頂くことができます。
- ③ **カメラ用インジケータ LED**
カメラ使用時に光るインジケータ LED です。
- ④ **23.6 インチ 10 点タッチ対応 LED バックライト液晶**
液晶モニタ部です。10 点同時タッチに対応します。
- ⑤ **バックライトインジケータ LED**
液晶モニタの表示を消している間点灯します。パソコンをシャットダウンしている時にも光ります。
- ⑥ **ハードディスク /SSD インジケータ LED**
アクセスがあった時に光ります。
- ⑦ **電源ボタン**
電源が入っている時に光ります。
- ⑧ **ステレオスピーカー**
スピーカーが 2 個備わっています。

製品背面側



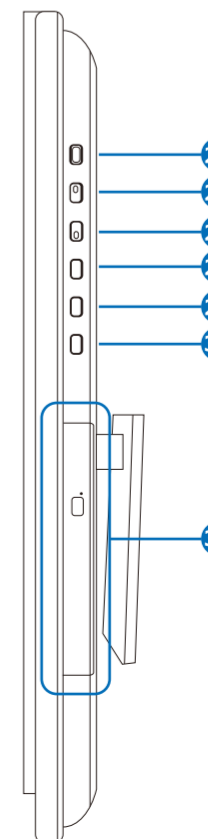
- ⑨ **セキュリティロック**
盗難防止のためのケンジントン社製セキュリティケーブルに対応しております。接続方法はケーブル側の説明書を参照下さい。
- ⑩ **光学ドライブ固定 / 取り外し機構**
ゴム製のフタがされており、内部には光学ドライブを固定する金具があります。通常はそのままをご利用下さい。
- ⑪ **VESA マウント用固定ネジ穴**
VESA マウントをサポートしております。4 カ所のネジ穴で対応する金具にネジで取り付けることが出来ます。ネジは本製品に付属しておりませんので、VESA 対応アーム等に付属のネジをご利用下さい。
- ⑫ **スタンド**
本体を支える足です。10 度～20 度の角度で調整することができます。
- ⑬ **電源コネクタ**
製品付属の AC アダプターを接続するための電源コネクタです。危険ですので、他のケーブルや付属以外の AC アダプターは接続しないでください。
- ⑭ **LAN コネクタ**
LAN ケーブルを接続します。
- ⑮ **音声出力端子**
音声を他の機器に出力することが出来ます。3.5mm ステレオケーブルが利用できます。
- ⑯ **HDMI 出力端子（上側）**
HDMI 出力を行うための端子です。2 画面目に出力をする場合にご利用頂けます。
- ⑰ **HDMI 入力端子（下側）**
HDMI 信号を入力することができます。本製品をモニタ代わりに使用したい場合にご利用下さい。その際、タッチ機能は利用いただけません。
- ⑱ **VGA 入力端子**
VGA 信号を入力することができます。本製品をモニタ代わりに使用したい場合にご利用下さい。その際、タッチ機能は利用いただけません。
- ⑲ **USB2.0/1.1 ポート**
USB 機器を 4 デバイスまで接続することが出来ます。キーボード・マウスはこちらへの接続をお勧めします。

本体左側面



- (左側面)
- ⑳ **カードスロット**
本製品ではご利用いただけません。カード・その他のものを挿入させないようお願い致します。
- ㉑ **SD カードスロット**
SDメモリーカード(SD/SDHC/SDXC 対応)を接続できます。
- ㉒ **USB3.0 ポート x2**
USB3.0 対応機器を 2 台接続できます。なお、USB wake 機能はサポートしませんので、必要に応じて USB2.0/1.1 ポートに接続下さい。
- ㉓ **ヘッドホン端子**
3.5mm ステレオジャック対応ヘッドホンを接続できます。
- ㉔ **マイク端子**
3.5mm ジャック対応マイクを接続できます。

本体右側面



- (本体右側面)
- ㉕ **バックライトボタン**
液晶バックライトのオン・オフを切り替えます。
- ㉖ **輝度調整ボタン (+)**
画面を明るくします。
- ㉗ **輝度調整ボタン (-)**
画面を暗くします。
- ㉘ **ボリュームボタン (+)**
音声を大きくします。
- ㉙ **ボリュームボタン (-)**
音声を小さくします。
- ㉚ **画面入力切り替えボタン**
本体・HDMI 入力・VGA 入力の 3 系統の画面をそれぞれ切り替えます。
- ㉛ **光学ドライブ**
CD/DVD コンボドライブです。ベゼル中央のボタンを押すとドライブのトレイが開きます。

パソコンセットアップガイド

本章は Windows8 が導入済みの「パソコン」として購入された方のための初期セットアップガイドになります。ベアボーン（主要パーツが無い自作パソコンのための「組み立てキット」状態）で購入された場合には、分解・組み立てガイドを参照下さい。また、ベアボーンの場合には OS を別途でご自分で導入頂く必要があります。詳しくは添付の自作パソコン組み立てマニュアルの 24 ページからの記述を参照下さい。

■ 本体のセットアップ

1. 本体を設置する

安定した机等の上に設置下さい。設置の際は冷却のため本体を壁面から 10cm 以上開けるようにして下さい。本体背面のスタンド（足）は 10～20 度の角度で開くことができます。作業しやすい角度で設置しましょう。



3. 電源を入れる

本体前面右下の銀色の電源スイッチを押すと電源が入ります。



5. ライセンス条項に同意する

「Windows を使うためのライセンス条項に同意します」をタップし、同意するをタップします。

7. ワイヤレス設定を行う

本製品は WiFi 接続が可能です。利用可能な WiFi アクセスポイントがあれば、この画面で WiFi アクセスポイントに接続し、利用することができます。WiFi アクセスポイントをタップして選択し、右下の「接続」をタップします。パスワードを尋ねられますので、入力し、右下の「接続」をタップすると、ネットワークに接続することができます。利用しない場合や、今すぐ設定を行わない場合には「後でワイヤレスネットワークに接続する」をタップすると次に進むことができます。




2.AC アダプタを接続する

AC アダプタに電源ケーブルを挿し、本体背面の電源コネクタに接続します。



4.OS のセットアップを起動し、プロダクト ID を入力する

起動後、Windows8 が起動します。画面に従い、Windows8 のプロダクトキーを入力しましょう。プロダクトキーは本体背面に貼り付けてある COA ステッカーに記載のある、XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX 形式の 25 桁の英数字です。USB キーボードを接続していない場合には、プロダクトキーを入力するエリアをタップすることでスクリーンキーボードを出すことができます。スクリーンキーボードが出ない場合には、 をタップし、「スクリーンキーボード」をタップしてもソフトウェアキーボードを表示することができます。



6. パーソナル設定を行う

パーソナル設定から色の設定とパソコンの名前を入力します。ここでも入力のためにスクリーンキーボードを使うことができます。



8. 設定を行う

ここから先の設定は、選択する選択肢やインターネット接続の有無、アカウントの種類によって細かく分かります。添付の弊社「自作パソコン組み立てマニュアル」の 25 ページ 11 番からの記述を参照し、その後の設定の参考になさってください。

■ Windows が起動しなくなってしまった場合

原因がハードウェアの場合と、Windows8 側の問題の二通りが考えられます。一度 Windows8 のクリーンインストールをお試し下さい。※作業により、現在のデータが完全に削除されますのでご了承下さい。また、作業のために USB キーボードが必要です。

(1) 電源が切れた状態から作業を行いますので、電源を入れている場合には電源ボタンを押し、電源を切ってください。※もしどうしても電源が切れない場合には 5 秒以上電源ボタンを押し続けることで強制的に電源を切ることができますが、故障の原因となる場合があります。

(2) Windows8 のディスクを光学ドライブに挿入する。

(3) 電源ボタンを押し、電源ボタン押下直後から F11 キーをカタカタカタと 20 秒程度連打してください。

(4) 画面中央に青い四角いメニューが表示されます。「INTEL」と表示されていない方のデバイスが光学ドライブです。キーボードの矢印キーの上下でカーソルを移動し、光学ドライブを選択後、Enter キーを押して下さい。複数ある場合には「UEFI」から始まる方を選択下さい。

(5) 選択後、「Press any key to boot from CD or DVD…」という白い文字が左上に表示されますので、何かキーボードのキーを押して下さい。入力を受け付ける時間は 1 秒程度と非常に短いためご注意ください。

(6) 一分程度で添付の弊社「自作パソコン組み立てマニュアル」の 24 ページ 1 番の画面が表示され、セットアップが開始されます。

(7) 自作パソコン組み立てマニュアル 24 ページの 1～6 まで進めて頂き、7 番の画面が表示されたら、現在表示されているドライブのパーティションを全て削除します。ドライブオプションをタップし、削除をタップ、OK をタップすることで削除することができます。削除することで割り当てられていない領域が増えます。全ての領域を削除し、ドライブ全体が空き領域になったら、右下の「次へ」をタップします。

(8) 自作パソコン組み立てマニュアル 24 ページの 8 番の画面になりますので、そのままセットアップを継続します。

(9) Windows8 のセットアップが完了したら、続けてドライブの導入を行います。添付のドライバディスク（白と黒の蓋面のもの）を光学ドライブに挿入するとメニュー画面が表示されます。タップして操作を選択する表示になったら Setup.exe の実行をタップしてください。



ベアキット（型番 :AIOH61-01）詳細スペック

チップセット	Intel H61 チップセット
モニター	23.6" 16:9 1920*1080、フル HD LED パネル
タッチ機能	投影型静電容量方式 (PCT) 10 点タッチ入力対応
メモリ	2xSO-DIMM ソケット <p>DDR3 1333 (最大 8GBx2・合計 16GB) デュアルチャネル対応</p>
ストレージ	2.5 インチ / 3.5 インチ SATA HDD/SSD x 1
光学ドライブ	スリム ドライブ DVD Super Multi
WLAN/BT	802.11BGN +BT4.0 COMBO
Web カメラ	デジタルマイク /2.0M HD ピクセル Web カメラ付き
電源アダプター	150W
Side I/O	USB 3.0 x 2、メモリーカードリーダー、マイク入力、ヘッドフォン出力
Rear I/O	USB 2.0 x 4、電源端子 (付属 AC アダプター用)、LAN 端子 <p>VGA 入力、HDMI 入力、HDMI 出力、ライン出力</p>
オーディオ・スピーカー	本体前面内蔵ステレオスピーカー 2.5W x 2
LED インディケーター	HDD LED、パワー LED、バックライト LED
キーボードボタン	Vol+/-、LCD 輝度 +/-、LCD/PC モード、バックライト
VESA マウント	VESA マウントスタンド (100mmx100mm) 対応
Kensington ロック	カバー裏面に取付
スタンド	フォトフレーム型
寸法	縦：410 mm 横：576mm 高さ：64.2mm（シャーシ部）
重量	10.3kg
対応 OS	Windows8

- ユーザーアカウント制御ウインドウが表示され、許可するか尋ねられますので、「はい」をタップしてください。
-
- メニュー画面が表示されますので、「Install」から始まる各項目を上から順にダブルタップで実行し、ドライバをインストールしていきます。
 - ドライバは導入後再起動するか確認してきますので、再起動してください。
 - 全てのドライバがインストール出来たらインストール完了です。なお、「Install」で始まらない項目については、ドライバではありませんので、導入する必要はありません。

(1)～(3)の手順をお試し頂いた上で、不調なままであったり、OS やドライバのインストール出来ない・インストールが失敗する場合には、一度確認のため弊社サポートセンターまでお問合せ下さい。

本製品をご利用頂く上での諸注意事項

■ BIOS 設定について

本製品は BIOS 設定画面に Delete キーで入ることが出来ます。電源投入直後、Windows が起動するまでの間に Delete キーを連打して頂ければ入ることができます。押すタイミングが遅かったり、押しっぱなしでは反応しない場合がございます。Windows8 は起動が通常起動が高速であるため、入れない場合には再起動し、再起動直後の連打をお試し下さい。

■ Windows 環境以外でのタッチ動作について

BIOS 画面など、Windows 以外の環境ではタッチ動作は機能しません。別途 USB キーボードを接続した上での操作が必要になります。

■ 任意のデバイスからの起動について

電源投入直後から F11 キーを連打することで、起動メニューに入ることができます。起動可能なデバイスの一覧が表示され、矢印キーで起動デバイスを選択することができます。

■ HDMI 出力について

HDMI モニタを接続して画面出力をする場合、接続した HDMI モニタ側が優先されてしまう場合があります。Windows8 上では「画面の解像度」から適切な設定を行うことでデュアルディスプレイ設定することができます。Windows 上での設定を行う前に HDMI 出力は行わないことをお勧め致します。

■ 音声について

音が出ない場合

- ・ミュート設定になっていないかどうか
- ・適切な出力先が選択されているか
- ・接続しているコネクタに誤りが無いか

これらの点についてご注意ください。併せて、サウンドの再生タブのプロパティもご確認下さい。また、デバイスの抜き差し確認や、デバイスを接続した場合に表示されるポップアップダイアログで、正しい設定を行っているかご確認下さい。ポップアップダイアログは音声デバイスを再接続すると再度表示させることができます。

録音が出来ない場合

- ・ミュート設定になっていないかどうか
- ・マイクの音量が大きくなっているか
- ・マイクブーストが正しく設定されているか
- ・前面マイクを利用する場合、別途マイクを側面端子に接続していないか

これらの点についてご注意ください。併せて、サウンドの録音タブのプロパティもご確認下さい。